

**特記事項**

(工事概要)

- ・空調設備改修工事  
既設ビルマルチエアコンを撤去し、個別パッケージエアコンを新設する。

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、内部作業については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工事用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は受注時において工事着手前に「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出すること。また、工事完了後にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行い、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出すること。

(解体撤去処分)

- ・本工により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、速やかに施工報告書(マニフェスト等の写し)を市監督員に提出すること。
- ・当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成28年版」  
「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成28年版」  
「公共建築設備工事標準図(電気、機械設備工事編)平成28年版」  
「建築、電気、機械設備工事監理指針平成28年版」
- 独立行政法人 建築研究所監修  
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市波瀬公民館空調設備改修工事		縮尺 N/S. 1/200
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A2 平成29年4月
津市建設部営繕課		No. M-01

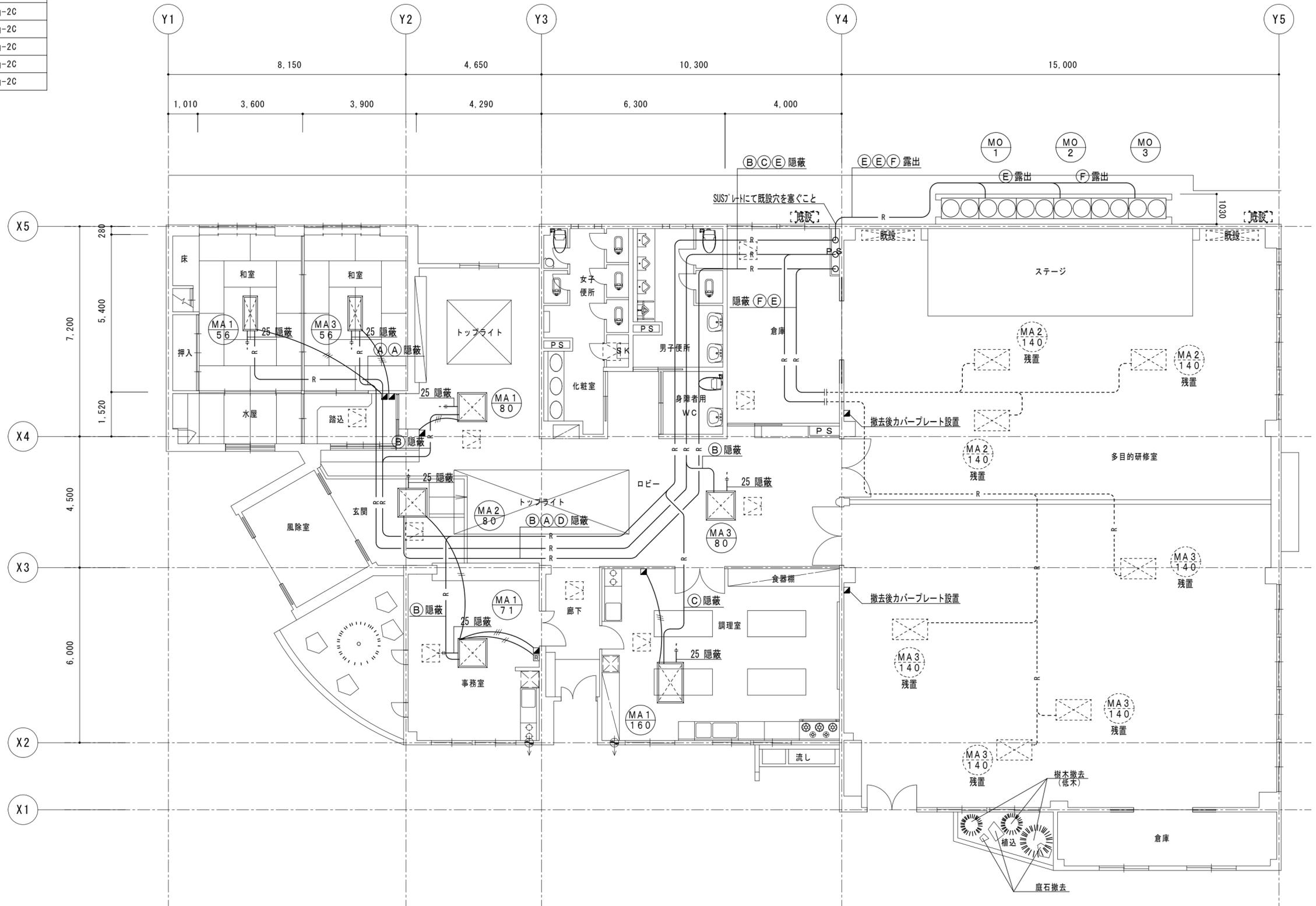
空調機器表（新設）				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
AC-1	パッケージエアコン	冷房能力：5.6(2.0~6.3) kW 暖房能力：6.3(1.6~8.0) kW ※インバータ能力は参考値	2	既製RC基礎
	天井カセット2方向	3相200v 消費電力 冷房(定格)：1.72 kW 暖房(定格)：1.71 kW		防振ゴム
		ワイヤードリモコン 標準パネル リニューアルパネル		
AC-2	パッケージエアコン	冷房能力：7.1(2.4~8.0) kW 暖房能力：8.0(2.0~10.8) kW ※インバータ能力は参考値	4	現場打ち基礎、既設基礎流用
	天井カセット4方向	3相200v 消費電力 冷房(定格)：1.88 kW 暖房(定格)：2.03 kW		防振ゴム
		ワイヤードリモコン 標準パネル		
AC-3	パッケージエアコン	冷房能力：14.0(5.8~16.0) kW 暖房能力：16.0(4.6~19.0) kW ※インバータ能力は参考値	1	現場打ち基礎
	天井カセット4方向	3相200v 消費電力 冷房(定格)：4.09 kW 暖房(定格)：4.09 kW		防振ゴム
		ワイヤードリモコン 標準パネル リニューアルパネル		
AC-4	パッケージエアコン	冷房能力：20.0(7.0~22.4) kW 暖房能力：22.4(5.8~27.0) kW ※インバータ能力は参考値	2	現場打ち基礎
	同時ツイン	3相200v 消費電力 冷房(定格)：6.75 kW 暖房(定格)：7.13 kW		防振ゴム
	壁掛け形	ワイヤードリモコン		
特記事項 1. 冷暖房条件はJISの条件による。 2. 機器のインバータ能力は参考値とする。				
3. 室外機のアンカーボルトはダブルナット留めとする。 4. グリーン購入法調達基準適合商品とすること。				
5. 高さ1mを超える室外機には転倒防止金物を取り付けること。 6. 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。				

空調機器表（既設撤去）				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
MO-1	空冷ヒートポンプ式	冷房能力：35.5 Kw 暖房能力：40.0 Kw	1	
	マルチエアコン	3相200v		
	室外機			
MO-2	空冷ヒートポンプ式	冷房能力：45.0 Kw 暖房能力：50.0 Kw	1	
	マルチエアコン	3相200v		
	室外機			
MO-3	空冷ヒートポンプ式	冷房能力：56.0 Kw 暖房能力：63.0 Kw	1	
	マルチエアコン	3相200v		
	室外機			
MA-56	同上室内ユニット	冷房能力：5.6 Kw 暖房能力：6.3 Kw	2	
	(天井カセット2方向吹出し)	1相200v		
MA-71	同上室内ユニット	冷房能力：7.1 Kw 暖房能力：8.0 Kw	1	
	(天井カセット4方向吹出し)	1相200v		
MA-80	同上室内ユニット	冷房能力：8.0 Kw 暖房能力：9.0 Kw	3	
	(天井カセット4方向吹出し)	1相200v		
MA-160	同上室内ユニット	冷房能力：16.0 Kw 暖房能力：18.0 Kw	1	
	(天井カセット4方向吹出し)	1相200v		
MA-140	同上室内ユニット	冷房能力：14.0 Kw 暖房能力：16.0 Kw	7	
	(天井埋込ダクトタイプ)	1相200v		

凡 例			
図示記号	名 称	配管材料	備考
— R —	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管：10mm（ただし、φ10未満は8mm） ガス管：20mm	屋内露出：配管化粧カバー 屋外露出：ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上げ 屋外露出（和室系統）：配管化粧カバー
— D —	ドレン管	VP ※屋外はカラーVPとする	

津市波瀬公民館空調設備改修工事		縮尺 NS
図面名称	空調 機器表、凡例	原図：A 2 平成29年4月
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. M-02

記号	冷媒配管サイズ		室内外連絡線
	液管	ガス管	
Ⓐ	φ 6.4	φ 12.7	MVVS-1.25sq-2C
Ⓑ	φ 9.5	φ 15.9	MVVS-1.25sq-2C
Ⓒ	φ 9.5	φ 19.0	MVVS-1.25sq-2C
Ⓓ	φ 12.7	φ 25.4	MVVS-1.25sq-2C
Ⓔ	φ 15.9	φ 31.8	MVVS-1.25sq-2C
Ⓕ	φ 19.0	φ 38.1	MVVS-1.25sq-2C

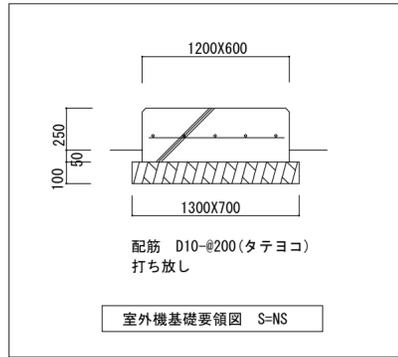


(撤去)配管図示記号	
	撤去配管
	現状維持配管
	現状配管・撤去配管切離し部分
	リモコン線 VSF0.5sq-3C(PF16)
	集中制御線 MVVS1.25sq-2C(PF16)
※PF管は撤去せず、原則再利用すること。	
	リモコン
	集中コントローラー
	既設天井点検口 600角

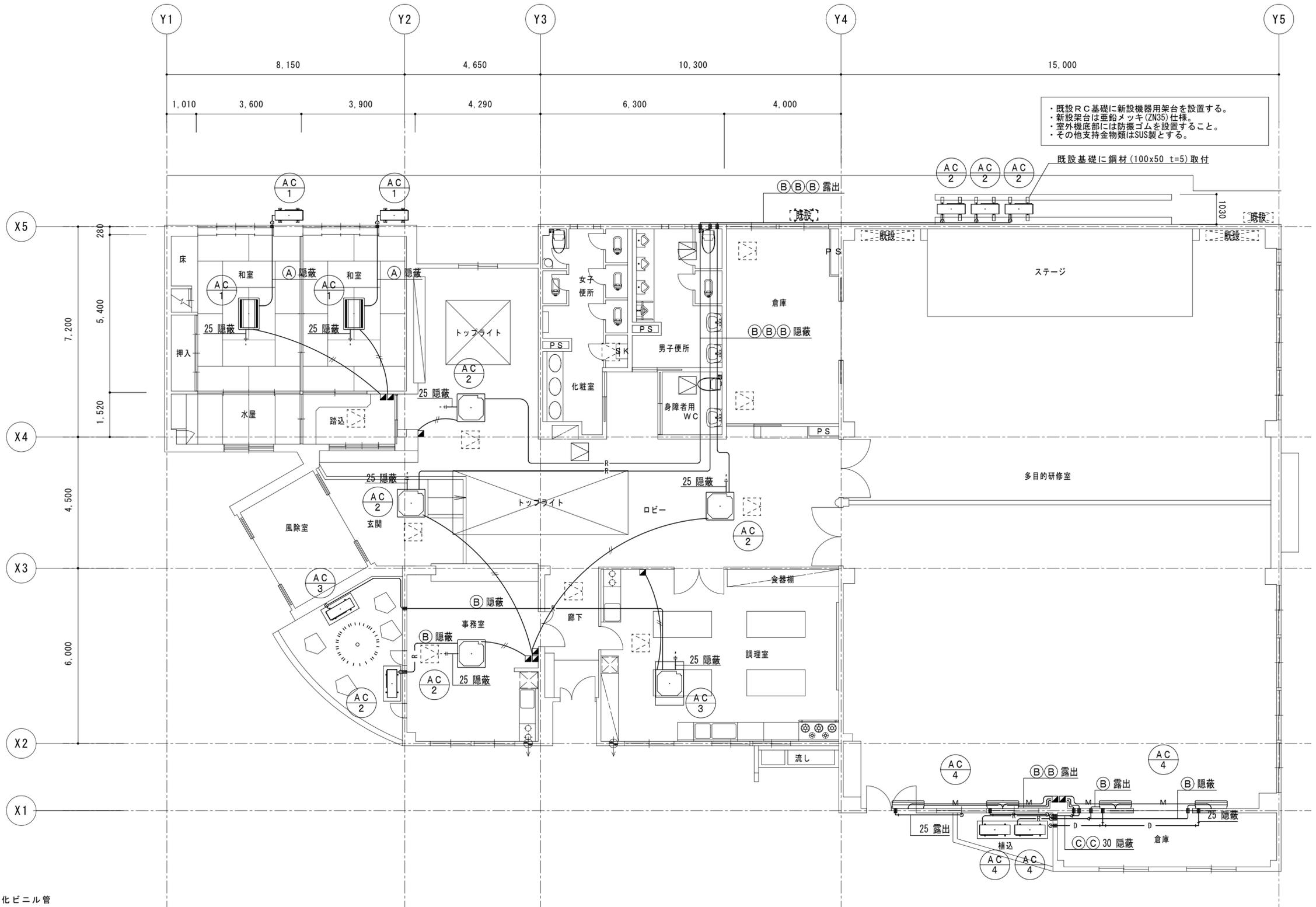
- 機械室撤去工事要領
1. 空調室内外機・配管(一部残存)の撤去処分をおこなう。
  2. 各個別リモコン、付帯配線を撤去する。
  3. リモコン撤去後、新設リモコンを設置するが不要箇所はカバープレート設置とする。
  4. ドレン管は切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。

平面図 S=1/100

津市波瀬公民館空調設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	空調 平面図 撤去	原因: A 2 平成29年4月
津市建設部 営繕課		No. M-03



※発生土は場外自由処分とする。



・既設RC基礎に新設機器用架台を設置する。  
 ・新設架台は亜鉛メッキ(Zn55)仕様。  
 ・室外機底部には防振ゴムを設置すること。  
 ・その他支持金物類はSUS製とする。

既設基礎に鋼材(100x50 t=5)取付

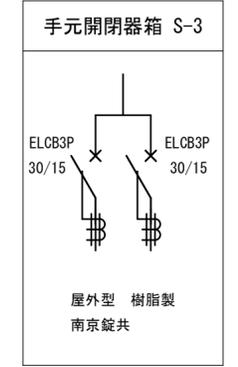
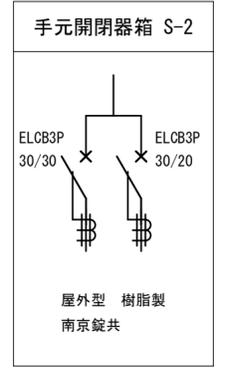
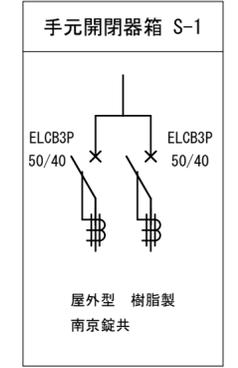
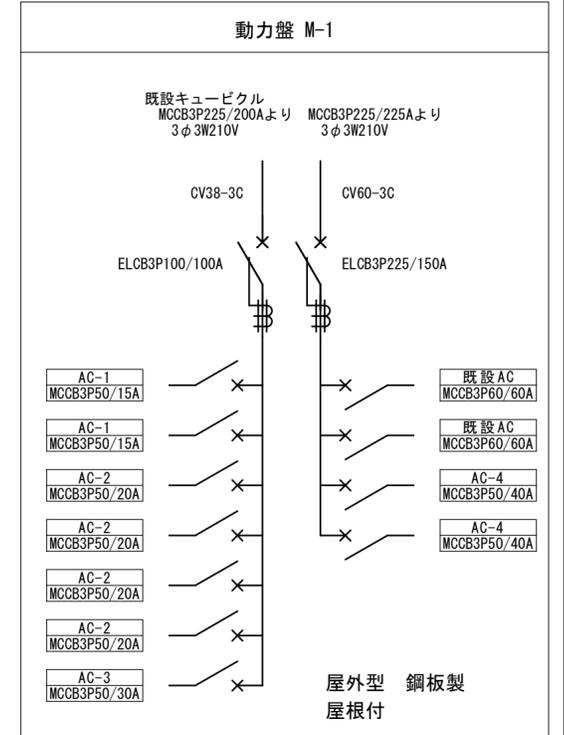
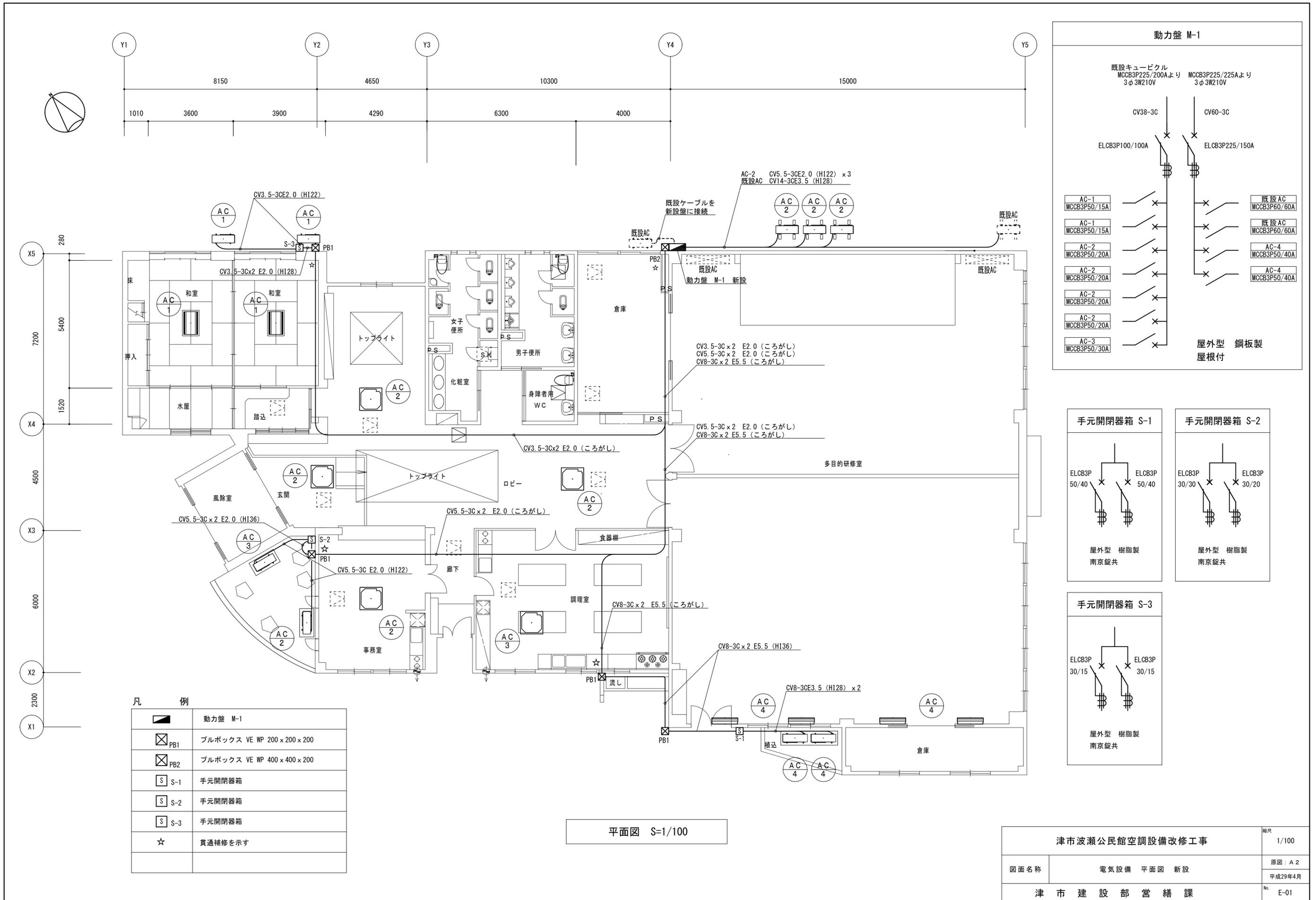
配管図示記号	
	新設配管
	現状維持配管
	現状配管・新設配管接続部分
	リモコン線 CVVS1.25sq-2C
	リモコン線 CVVS1.25sq-2C (メタルモールA型)
	リモコン
	新設天井点検口 600角
	既設天井点検口 600角
	コア抜き箇所 φ100

※ドレン排水は既設ドレン管に接続する。  
 室内外連絡線は冷媒管共巻きとする。  
 ※保温仕様は以下とする。  
 ドレン管 屋内露出：結露防止用保温付硬質ポリ塩化ビニル管  
 屋外露出：カラーVP  
 冷媒管 屋内露出：配管化粧カバー  
 屋外露出：ポリスチレン+SUSラッキング仕上げ  
 屋外露出(和室系統)：配管化粧カバー  
 ※冷媒管の外壁貫通時は以下とする。  
 外部に向けて勾配を設けること。  
 サヤ管を設置すること。  
 ※冷媒管の支持箇所には保温材保護プレートを使用すること。

記号	冷媒配管サイズ		室内外連絡線
	液管	ガス管	
Ⓐ	φ6.35	φ12.7	VVF2.0-3C
Ⓑ	φ9.52	φ15.88	VVF2.0-3C
Ⓒ	φ12.7	φ25.4	VVF2.0-3C

平面図 S=1/100

津市波瀬公民館空調設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	空調 平面図 新設	原図：A2 平成29年4月
津市建設部営繕課		No. M-04



凡 例

■	動力盤 M-1
⊠ PB1	ブルボックス VE WP 200 × 200 × 200
⊠ PB2	ブルボックス VE WP 400 × 400 × 200
Ⓢ S-1	手元開閉器箱
Ⓢ S-2	手元開閉器箱
Ⓢ S-3	手元開閉器箱
☆	貫通補修を示す

平面図 S=1/100

津市波瀬公民館空調設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	電気設備 平面図 新設	原図 : A 2 平成29年4月
津市建設部 営繕課		No. E-01

